

レオグランドゴルフクラブの水質検査結果について

町とゴルフ場との間で締結している公害防止協定に基づき、年4回町が立ち合いで水質検査を実施しています。その検査結果については、次のとおり、すべての項目について基準値内でありました。また、農薬(2項目)検査についても環境省から示された指針値以下でありました。

水質検査結果

(令和4年5月実施分)

検体 項目	協定書による許容限度	検査用採水場所	
		久保ノ谷池(佐井)	露谷(坂野川)
水素イオン濃度(pH)	6.5~8.5	6.6	7.5
生物化学的酸素要求量(BOD)	5 mg/ℓ以下	1.5mg/ℓ	1.8mg/ℓ
浮遊物質(SS)	50 mg/ℓ以下	4mg/ℓ	6mg/ℓ
全窒素濃度(T-N)	5 mg/ℓ以下	0.3mg/ℓ未満	0.3mg/ℓ
全リン濃度(T-P)	1 mg/ℓ以下	0.05mg/ℓ未満	0.05mg/ℓ未満
大腸菌数	1000CFU/100ml	2CFU/100ml	24CFU/100ml
有機リン	検出されない	検出されない	検出されない

※農薬検査 ・ダイアジノン ・プロピザミド

令和4年4月1日より環境省の定める「水質汚濁に係る環境基準」の見直しに伴い、検査項目を大腸菌群数から大腸菌数に変更しています。

■お問合せ 中津地域振興課 ☎23-9503

ゼロカーボンシティひだかがわ Zero Carbon City Hidakagawa ~できることから始めよう~

脱炭素社会の実現には、一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。「ゼロカーボンアクション30」にできるところから取り組んでみませんか。▶



(環境省「COOL CHOICE」)

日高川町では、地球温暖化防止対策の一環として、エネルギーの自給率の向上および災害に強い地域づくりに寄与するため、太陽光発電システムを設置している方が新たに住宅用蓄電池システムを購入し設置する場合、費用の一部を補助します。詳細は町ホームページをご確認ください。▶



■お問合せ 企画政策課 ☎23-9511

エネルギーを節約・転換しよう!

ACTION

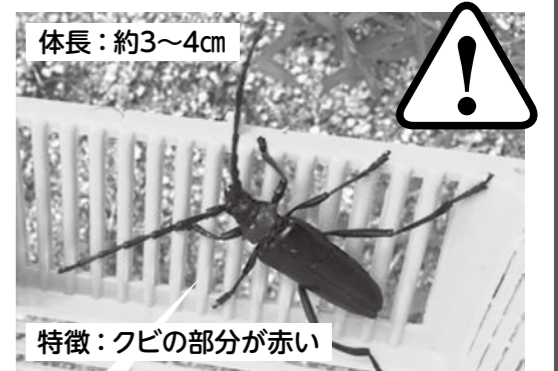
- 1 再エネ電気への切り替え
- 2 クールビズ・ウォームビズ
- 3 節電
- 4 節水
- 5 省エネ家電の導入
- 6 宅配サービスをできるだけ一回で受け取る
- 7 消費エネルギーの見える化

環境省
Ministry of the Environment

情報をお寄せください

昆虫名 クビアカツヤカミキリ

体長：約3~4cm



特徴：クビの部分赤い

近年、外国から侵入したクビアカツヤカミキリの発生が日本各地で問題となっており、ウメ・サクラ等の樹木を中心に大きな被害を与えるため情報提供を呼びかけています。

特に7~8月にかけて、幼虫が寄生した樹木周辺で多く見られます。樹種、農地を問わず、見かけた場合には、下記までご連絡をお願いします。

クビアカ情報▶



■お問合せ 農業振興課 ☎22-2048

防災通信 Vol. 35 自然災害による被害を防ぐ ~台風への備え~

自然災害による被害を防ぐには、普段からの備えや正しい情報の入手が重要です。被害を未然に防ぐために正しい知識を身につけましょう。

台風の強さの階級分け	階級	最大風速	台風の大きさの階級分け	階級	風速15m/秒以上の半径
	強い	33m/秒以上~44m/秒未満		大型(大きい)	500km以上~800km未満
	非常に強い	44m/秒以上~54m/秒未満		超大型(非常に大きい)	800km以上
	猛烈な	54m/秒以上			

台風とは強風や大雨を伴った熱帯低気圧のことで、最大風速がおよそ17m以上で「台風」と呼ばれます。台風が接近したら、気象情報に注意して被害を最小限に食い止めましょう。

台風への備え

- 家の外の備えを行う(大雨が降る前、風が強くなる前に済ませましょう。)
 - 窓、雨戸はしっかりと鍵をかけ、必要に応じ補強しましょう。
 - 側溝、排水口は掃除して水はけを良くしておきましょう。
 - 風で飛ばされそうな物は固定したり、屋内に格納しましょう。
- 家の中の備えを行う
 - 非常用具を確認しましょう。(懐中電灯、携帯用ラジオ、救急用品など)
 - 室内の安全対策をしましょう。(窓ガラスに飛散防止フィルムやテープを貼る、カーテンやブラインドを下ろすなど)
 - 水の確保をしましょう。(断水に備え飲料水を備蓄する、浴槽に水を張って生活用水を確保するなど)
 - 非常食を準備しましょう。(乾パンやクラッカー、レトルト食品、缶詰など)
- 避難場所の確認を行う
 - 学校や公民館など避難場所の位置、避難経路を確認しましょう。
 - 日頃から家族で避難場所や連絡方法などを話し合っておきましょう。
 - 避難するときは、持ち物を最小限にして両手が使えるようにしましょう。
- 気象台が発表する「台風情報」、「警報・注意報」などの情報の入手を行う。
 - 気象台では、台風の影響が考えられる場合や雨などにより重大な被害が発生する恐れがある時には、「台風情報」や「警報・注意報」を発表します。テレビ、ラジオ、気象台ホームページから最新の情報を入手してください。
- 台風接近中は、不要不急の外出を控える。
 - 台風など強風時に外出すると、看板などの落下物や飛来物、倒れかけた樹木、垂れた電線などで大けがをする場合があります。台風接近中は、不要不急の外出は控えましょう。

■お問合せ 防災センター ☎24-9280